

地域医療や改築問題…考えよう

有志が北見赤十字病院「支援する会」

北見赤十字病院について考える市民有志の会が16日に発足する。

師、谷川勝男さん(68)が発起人の代表を務める。

会合は月1回ほど開く予定。北見赤十字の職員を招き、病院の現状や課題について説明してもらおう。参加者の疑問や要望に職員が答え、意見交換を予定する。

北見赤十字に対する疑問や要望、病院の改築問題などについて、病院関係者を交えて意見交換する。

谷川さんは10月に北見赤十字に入院した際、同室の患者と病院の改築問題などで議論した。退院後、北見赤十字や地域医療の将来について市民がもっと考える必要があると感じたという。

1月には北見赤十字の協力を受け、院内の見学会を計画している。谷川さんは「医療

名称は「北見赤十字病院の明日を考え、支援する会」(仮称)で、市内東陵町の元中学教

師、谷川勝男さん(68)が発起人の代表を務める。

1月には北見赤十字の協力を受け、院内の見学会を計画している。谷川さんは「医療

16日「若い世代に参加を」

は将来の市民生活にかかわる重要なテーマ。若い世代にぜひ会合に参加してほしい」と呼びかける。

第1回会合は16日午後6時30分から北見市民会館(常盤町2)で開く。

参加費は会場費として1人200円。問い合わせは谷川さん ☎0157・23・4378へ。

(山本忠彦)